



防災ニュース



自分の命・家族・財産は自分で守る！

今年も台風による想定外の被害が各地で発生しました。被災地の一日も早い復興をお祈りするばかりですが、私たちもいつ災害に遭遇するかわかりません。地震や台風など、自然現象を食い止めることはできませんが、被害を最小限に食い止める「減災」への取り組みは可能です。日頃からの備蓄、家族や周りの人と話し合うといった備えで身を守りましょう！



平常時こそ災害への備えを！



わがまち 「防災タウンウォッチング！！」 10/5～19

■「防災マップ」作成のための タウンウォッチング実施！

防災・減災に取り組むにあたって、まず確認すべきものは、ハザードマップと防災マップとされています。ハザードマップは、災害の被害予測図で、災害種別ごとに存在します。防災マップは、避難場所や公共施設などを示した地図で災害種別を問いません。



今回は、今ある自分たちの地域の実態をみんなで知ろうという思いから、一人ひとりが知っている情報を出し合い、地域の実状や危険箇所などを確認しながら支部別に「防災タウンウォッチング」を実施しました。地域の課題や、消火栓、防火水槽、応急給水栓の位置などを落とし込み、各支部ごとに「防災マップ」を作っていきます。



消火栓の蓋を開けて中を確認。上に車が駐車されてしまうと「いざ！」という時、妨げになります！



■マップ作りは「防災力」向上に一役！

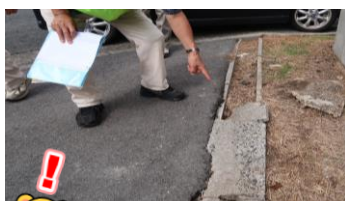
防災マップ作りを地域で取り組むことによって、防災意識が向上するとともに対話が生まれ、隣近所のつながりや意識の共有化が図られます。自分たちが実際にまちを歩いて作るからこそ「いざ！」という時に役立ちます。

■地域で「防災力」を高めるために

- 個人…家の耐震化、食料の備蓄や地震保険への加入
 - 地域…命を地域で守る「人と人とのつながりの強化」
- 消防隊や自衛隊がかけつけるまでに命を救えるのは隣近所の人以外にはありません。日頃から「互近助」の発揮できる隣近所の「顔の見える関係づくり」が大切です。



消火栓・防火水槽の位置確認



危険箇所の確認



マンホール蓋の段差

- 一時避難場所：身の安全を守るために、すぐに避難でき、家族や隣近所の人々の安否を確認する場所
- 指定避難所：地域防災計画に基づく行政が指定した避難所で、被災後支給される公的な食料や物資が届きます
- 避難経路：避難は徒歩が原則で、誰でも知っている通学路を基準にしますが、道幅の狭いところは避けます

**「人と防災未来センター」
県外研修 R1.7.26(金)**

昨年好評だった防災県外研修を実施し、今年は74名の皆様に参加いただきました。「人と防災未来センター」は、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災の実現のために必要な情報を発信する施設です。



人と防災未来センター 参加者全員で撮影

**防災倉庫 点検・整理
R1.8.26(月) 9.23(月)**

明神4丁目公園の防災倉庫2基の点検・整理を2日にわたり実施しました。暑い中、備品を一旦外に出し、点検しながら整理する作業は大変でしたが、真ん中に棚を設置して収納することで、何がどこにあるのか一目瞭然！スッキリと片付けました。



倉庫管理担当の皆さん スッキリと収納！

**普通救命講習 I
R1.9.28(土)**

心臓が止まると約4分で脳の細胞が死んでしまい、すぐに119番をかけても救急車が到着するまでに平均6分かかると言われています。もしもの時に備えて、適切な応急手当を身につける講習で毎年実施しています。(講習：奈良県広域組合西和消防署)



西和消防署の方による講習 子どものデモ機

**防災備品展示・販売
R1.9.28(土)~30(月)**

防災会のアンケートで要望の多かった防災備品の展示・販売を実施しました。「非常食セット」「非常用持ち出し袋」「段ボール組立トイレ」など、日ごろから備えておきたい備蓄品をピックアップし、集会所ロビーで3日間展示・販売しました。



ロビーに展示した備蓄品(一部)

**王寺南幼稚園「防災教室」
R1.10.8(火)**

毎年恒例となった「防災教室」。一年経つと園児の成長ぶりが感じられます。地震や家事が起こった時、とるべき行動の練習、水消火器訓練、毛布を使った簡易担架づくり、段ボールベッドの組立など、盛りだくさんのメニューをこなし、最後は年長さん全員が頑丈な段ボールベッドに乗り記念撮影しました。



簡易たんか体験 水消火器体験(年長さん) 段ボールベッド組立 頑丈な段ボールベッドで記念撮影

ご覧ください:美しヶ丘自治会ホームページに自主防災会の活動が掲載されています。